

(毎月 10 日・25 日発行)

79 号 発行：NPO 法人夢ネット大船渡
2012 年 大船渡市盛町字内の目 14-15
12 月 10 日 HP「夢ネット大船渡」と検索を
メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

復興ニュース

無料法律相談を利用しよう 於：三鉄ふれあい待合室



これまで 28 回・191 件の相談あり

昨年 10 月から三鉄盛駅ふれあい待合室で行われている NPO 法人ヒューマンライツ・ナウによる(夢ネット大船渡協力)「無料法

律相談」は、28 回(12 月 2 日現在)を数え、この間の相談件数は 191 件となりました。土地の権利・ローン支払い・遺言・仕事・相続・保証人・弔慰金・保険・お墓・土地の契約・労災・医療・商標登録・家族問題など一般的な相談であっても大震災が背景にあります。相談が終わって帰るほとんどの人は、心配がなくなり笑顔で帰っていきます。

対応しました弁護士から、次のような感想が寄せられています。

◆ローンのある方は一度相談を

初めて大船渡の震災法律相談に参加しました。今まで夢ネットの皆様活動を文書や写真で知っていましたが、実際の活動を目の当たりにすることができ、感激いたしました。相談の一つは被災した家屋の解体をめぐる問題でした。

また、被災ローン減免制度について、名前は聞いたことがあるが、自分には適用がないと思っていたという方が多く、引き続き活動が必要だと思いました。

◆年末調整や確定申告にも色々な制度が

初めて相談会に参加させていただいた税理士です。これから年末調整や確定申告の時期になります。震災により被害を受けた方には、税の負担を免除したり軽減したりする制度がいくつかあります。住宅ローンがある場合や、ご自宅を売却して発生した損失などについても、様々な制度がありますので、ぜひ注意してみてくださいと思います。

◆遺言書の活用

まず、自分の土地を賃貸しているところ、賃貸借契約書に長男の氏名を追加すべきかどうかとの相談があり、追加すべきでないこと、遺言書で長男に土地を相続させる旨、書くことが良いと回答しました。次に、相続人がいないので、自分の財産をいどこに与えたいと思うがどうしたらよいかとの相談があり、税金関係を考慮すると遺言書を残したら良いと回答しました。

◆問題を抱えている方 まず相談を

今回は、震災が関連する相談が多かった。具体的な相談内容としては、相続・借金(ローン)問

題・家族間のトラブルなどがある。まだまだ様々な悩みを抱えた方々が、たくさんおられることを改めて実感した。この無料法律相談を今後も継続していく必要が大いにあると思う。また来ます。

◆法律相談は恥ではない 問題解決への参考にするためにも

今でも震災に関して生じた問題について悩みを抱えている方がたくさんいると感じました。また、そうでない方でも何らかの悩みを抱えていらっしゃる方が相当数いました。法律相談に来ることは



今年最後の無料法律相談

12 月 22 日(土) 14:00~16:00 12 月 23 日(日) 10:00~12:00

事前申し込みが必要です。申込先：三陸鉄道盛駅ふれあい待合室

☎ (0192) 47-3542

主催：ヒューマンライツ・ナウ、協力：夢ネット大船渡

恥ずかしことではないと思いますので、参考にするだけでも構わないと思います。是非、今後も皆様に利用していただければと思います。

被災地の手芸品販売 伊東市社協

第31回ボランティアフェスタ

大船渡市社会福祉協議会のお世話により、静岡県伊東市社会福祉協議会から、ボランティアフェスタで、被災地の手芸品を販売したいので送っていただけませんか。との温かい問合せがあり、喜んでお引き受けしました。

11月25日(10:00~14:00)、伊東市ふれあい広場で開催し、多くの高校生にも販売に協力を頂き、送付しました手芸品を完売してくれました。



伊東市 高校生も販売を手伝う

売って頂きました手芸品は、タオルドレス、ミニ帽子、布ぞうり、トウモロコシ人形、アクリルたわし、赤ちゃんのおもちゃ、巾着、新聞ブローチ、笑路キーホルダー、気仙椿、気仙椿ストラップ等でした。

12月1日伊東市社協の方々30名がホテル碁石に宿泊し、朝9時30分に売りました代金56,700円を、伊東市社協の大田会長から、岩城理事長へ渡して頂きました。その席では大船渡市から椿の苗2本を伊東市へ、伊東市からは3カ所の仮設住宅へ「みかん」を寄贈され、大船渡市社協へ預けられました。



ホテル碁石前での売上代金受取る

親子で楽しむクリスマス会



12月9日(日)朝9時30分から、三鉄盛駅ふれあい待合室は一足早い、親子で楽しむクリスマス会を開催しました。

プログラムは盛保育園でミニ演奏を行った、東京の田中浩二さん方ミュージシャン3名の演奏からスタート。次に松ぼっくりクリスマスツリーづくり、盛町の佐々木仁也さんによるマジックショー。午前最後は東京の田中宏さんに「読み聞かせ」を行って頂きました。途中お子さん方へクリスマスプレゼントをお渡しし、「サンタと遊ぼう」では、サンタクロースについての簡単なクイズを用いた交流を。また、大人の方々へも抽選でプレゼントをお渡ししました。そして東京のドイツ学園から贈られたケーキやお菓子、スタッフ特製スープを振る舞いました。

午後田中宏さんの読み聞かせがあり、その後はカラオケを楽しみました。

盛りだくさんの催し物に、集まった親子連れからはとても面白かった、と大変好評をいただきました。



写真：左上から①田中浩二さん方ミュージシャン(東京)、②佐々木仁也さんのマジック、③北上ボランティア連絡会の方々、右上は④読み聞かせの田中宏さん(東京)、ドイツケーキ、⑤お子さんもカラオケに参加しました。

復興まちづくり講演会—ワークショップポストイットまとめ—

●家、住宅

- ・みなし仮設と一般仮設との支援格差解消
- ・低価格の住宅提供
- ・シェアハウスを促進する
- ・仮設の人に住宅（住まい）を用意する
- ・空き家住宅調査
- ・高台移転のコーディネート
- ・災害公営住宅を建てて校庭を元に戻す

●文化的施設&娯楽

- ・自由に活用できる小型の文化施設
- ・子どもの好きな OnePeace 的なテーマパーク気仙丸を利用
- ・フューチャーセンターをつくる
- ・映画館、ショッピングモール、カフェ、ラウンドワンのな

●新たな「まち」「コミュニティ」

- ・次の天災をみこしての街のコミュニティ作り
- ・高台に避難施設をつくる（災害時も対応できる）

- ・外から移住してくる人を優遇する制度
- ・若者が集まる場所づくり
- ・10年・20年後のまちづくり協議の場
- ・北里大学の復活、津波研究センター誘致
- ・スポーツの街に

●市、住民

市民の話を聞きに行く

- ・市民と同じ場からの視点を持つ
- ・市民との対話の場を設ける
- ・市の職員に“民”の感覚をつける（民間へのインターン？）
- ・市とNPOの協働事業を創出する
- ・住民がまちづくりに参加しやすい制度づくり
- ・NPO/市民セクターが復興基金を使いやすくする

- ・全地域に「復興委員」を委嘱し進める
- ・住民が理解しやすい復興計画の発行
- ・市民要望をまとめ全国へ配信する

●高齢者&子ども

- ・高齢者の生活を大事に
- ・住民流出を防ぐ設備の充実
- ・高齢者支援と子育て支援をドッキング！
- ・高齢者が集まって子どもを見守る託児所？
- ・子育てしやすい環境づくり（支援や制度）
- ・子供の居場所、遊び場
- ・遊び場をつくる
- ・遊べる場をつくる（子ども、若者、年配）
- ・若い人が楽しむ場づくり
- ・若者のたまり場づくり（クラブ）

- ・しゃべりばをつくること
- ・もっと交流の場があったら！
- ・皆と集まる場がない！
- ・人が自由にあつまれるフリースペース

●環境

- ・林業
- ・自然を考えた町づくり
- ・山をキレイにする
- ・椿の産業化をすすめる

●交通・インフラ

- ・津波避難路を確定する
- ・避難道路の整備
- ・ワンコインで市内を回られる小型バス
- ・インフラ整備
- ・上下水道の整備
- ・嵩上げ
- ・道路の整備
- ・大船渡までの交通の便
- ・交通機関の整備

●観光

- ・観光客を増やす方法
- ・地元のブランド商品をつくる
- ・特産物を利用した新たな商品開発
- ・シャッター商店街をアート化し、外のお客さんと呼ぶ

- ・大船渡のアピール
- ・気仙丸を動かして観光資源とする
- ・地域イベントの充実
- ・外国人誘致の観光施策をたてる

●仕事 気仙の技術！

- ・大船渡の資源調査
- ・雇用の場をつくる
- ・第6次産業を育てる
- ・雇用関係に力を入れる
- ・農林漁業が楽しく出来る地域へ
- ・気仙大工の技術を生かしたカッコいい仕事づくり

●その他

- ・家族をつくろう 人口流出 STOP!
- ・市民の心のケア
- ・人財育成
- ・女性議員を増やす！
- ・そもそも女性の市長を増やす
- ・まちづくりの先事例を視察に行く
- ・町と町をつなぐ場をつくる
- ・農業が楽しく出来る町



Q.あなたが市長なら 今 何を最優先に着手しますか??

- 「市長と市民の対話会」を毎週開催する。
- 住宅(高台移転)
- 福祉サービス強化・充実(高齢者・生活困窮者 etc)
コミュニケーションの円滑化/福祉勉強会
- 被災者の住宅再建(早期解決)
- 住宅支援 選択肢をもうける!
- 高台移転のコーディネート
住民がまちづくりに参加しやすい制度づくり
- ①子どもの遊び場 居場所 シェルター
気仙丸と椿と日本カモシカを活かした OnePeace 的なテーマパーク
- ②DV 虐待児の早期発見 ③シェアハウス、三世代に渡る
- 住むところがあって初めて生活が落ち着く/環境も必要だが
- ①住宅再建→再建が進むと仕事ができるく生コン、大工仕事一職人がふるえる(木材で)
- ②交通 年寄り
- 仮設住宅の人に住まいを用意する
 - ・生活再建の礎、土台、基礎、準備できない人はずっと仮設
 - ・資源調査、空き家、産業
- 住宅整備・雇用 →子どものストレス救済、親が落ち着く
人口流出を防ぐ/交流・意見の拡充/地域の活性再生
- 家“ホーム”づくり
 - ・空き家の利用/・シェアハウスの促進⇒新しい価値
- 雇用創出のための仕事場づくり。それと並行して文化施設、トライショップ、
遊び場等をつくり、それも雇用を生む場とする。
 - ・シェアハウスを空き家調査などで市が借上げ、そこに独居老人の方を中心に住ませ、
若い介護士さんなどに巡回してもらう
 - ・ワンコインバス
- 子育て特区化して文字通り子供が財産な状態にして、人口 10 倍!!/林業(再生)
- 働ける場をつくる/ 気仙丸を利用した施設づくり
- 今抱えている大きな問題の解決もあるが、10年後、20年後の大船渡は、まちづくりの皆がイ
メージできるシンボリック的取り組みとして、漁業+観光(第6次産業)の取り組み。立国。
What? 人口減少 全国から来てもらう、全国に
- 1.雇用の場の開拓(拡大)/ 2.被災者の住む家の確保
3.働く場をつくる/住宅地の大きい団地 500 世帯整備/チャンスの時期だが

11月23日午後、カメリアホールで開催の「復興まちづくり講演会」(大船渡市内で支援活動を行っている方々)が参加し、「復興への想い」と「あなたが市長なら今何を最優先に着手しますが」等ホストイトに書いて提出しました。



※この復興まちづくり講演会は、JPF の支援により「認定 NPO 法人ジャパン・プラットフォーム、一般社団法人共生地域創造財団、NPO 法人さんさんの会、NPO 法人みちのくふる里ネットワーク、NPO 法人ハピタット・ジャパン、NPO 法人夢ネット大船渡が主催し開催しました。

今年もサンタが100人やってきた

NPO 法人遠野まごころネットでは、昨年に引き続き今年も「サンタが 100 人やってきた」を、全国から集まったボランティアサンタと地元参加サンタで、三陸沿岸の被災地(大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市・住田町・遠野市)で 12 月 22 日・23 日・24 日に実施します。

大船渡市内は、大船渡アクションネットワークが中心となって下記の日程で開催します。

◆12月22日(土)

10:00~12:00 大船渡地区公民館・日頃市地区公民館
13:00~15:00 カメリアホール
14:00~16:00 立根地区公民館

◆12月23日(日)

10:00~12:00 蛸ノ浦地区公民館・大船渡市役所三陸支所
14:00~16:00 綾里綾姫ホール・吉浜きっぴんセンター

◆12月24日(月)

10:00~12:00 末崎ふるさとセンター
10:00~17:00 猪川地区公民館
猪川地区館会場は、

午後は若い方々を対象としています
14:00~16:00 赤崎漁村センター
以上の会場とその付近をサンタが歩いて皆様
ンとお会いします。